

公道に捨てないでください / シェアしてください。もし、面白くないと思ったら、元に戻してください / ありがとうございます



「Y'a plus qu'à」は短いメッセージをまとめたブログです。
 これらのメッセージは、時とともにそれぞれが互いに補完しあうように
 書かれています。というのも、すべてが関係しあっているからです。
 上品な意味で、倫理や政治について話す以上のことが書かれています
 世界は逆さまになっているとの確かな言葉に基づいて、
 革命的な欲求に突き動かされ、世界を元に戻すことが大切です。
 「Y'a plus qu'à」は断固として異端である上に、無用なものです。
 ただし、これらのメッセージは、完全に自由な思考の世界に遊ぶことのでき
 る人には希望をもたらすことができるかもしれません。
 そしてまた、道を迷った精神をも照らすものになるかもしれません。
 もしあなたがシェアすることに意味があると思うのであれば、
 「Y'a plus qu'à」は自分のやることをしますので、あなたもまた自分の役
 割を果たしてください。世界を変えることはできないでしょうが、バタフライ
 効果がありますし、その他の可能性にも希望を託して。

「私たちは夜に回転し、火に焼き尽くされます」



蝶

続きはこちらで読んでください。

頭がおかしいのは私たちではありません



著作権の対象物です - アメリカのアーミッシュ・マフィア (Amish Mafia) のシリーズ写真からの抜粋です

私は、人が何を言うであろうかと気にするのをやめました。そして自分の思考を発展させることに取り組もうと思っています。というのも、そういう意識が私たちに訪れた結果、私にはそうすることが必要だと思えたからなのです。そのために、イルマ夫人(※2006年公開のフロンヌ映画のタイトル)である必要はありません。他の人を安心させるために、私を知っているあなたを頼りにしています。私はこの世界の誰よりも正気です。そして私は合理性の側に立ちます。科学は知っていることだけを前進させることができ、直感に基づいて仮説を立てるのだということを私は認識しています。

地平線は遮られ、人類はひどく妨げられています。人生に不安を感じている人、あまりにも意気消沈して自分で理解しようとして試みない人、または何も変わらないことで利益を分かち合っている人、こうした人ばかりです。これらの人々は同じことを続け、ただもっとうまいやり方をすれば、いずれは良い結果が出るだろう信じているのです。というのも、ご覧のとおり、進歩、持続可能な開発、持続可能な成長、そしてトランスヒューマニズム、サバイバリズム、そしてあらゆる同じジャンルの個人主義的な漂流というものは…彼らは、私たちが馬鹿だと言っており、未来を侮辱してはならないと言っています[1]。

悪はどこでも同じです。支配的なグループが、多数の人々を犠牲にして、領土と資源を流用するのです。女性の抑圧、性的虐待、レイプ、強制結婚。武力闘争に子どもを兵士として参加させること。ナチョナリズム、神に選ばれたという感情、民族の抹殺、多数派グループによるマイノリティーの文化と信仰の抹殺。

フロンヌでもヨーロッパでも、傷ついたスコードみたいに次のような言葉が繰り返されています。代替手段はありません、社会的国家は高くつきすぎます、魔法のお金はありません、世界のすべての悲惨さに対応することはできません。不平はやめて、もしやれることをやりたいなら、通りを渡ればいいだけです。あなたは私のようなジャンソンを知っているでしょう。それぞれが自分の場でやらなければならないことをし、私も自分の役割を果たします。すべてが私に関係し、何らかの形で私に影響を与えます。それが私の「今の状況における視点」です。

この複雑な世界の犠牲者のリストを作成することに専念するのではなく、まっすぐに物事を見つめるためにも現在から始めることが適切であると考えています。というのも、すべてを同時に行うことはできないのではないかと恐れているためです。それは優先順位の問題なのであり、大切なのはあなたのためではなく、私のためでもなく、私たち人類全体のためであり、未来の世代のためであります。

私が学んだこと、私の中でぐくもくもの、私の歩みを導くものを皆さんとシェアし、私のように考える人々を刺激することが大切なのです。私は、多くの人々が森から外界に足を踏み出すとして知っていることを知っています。私が試みようとするのがあなたには大げさに見えるかもしれませんが、できる限りのことを行うのが私の義務であるとお答えしたいのです。なぜなら、実践の哲学においては、私の力がかたがしかの物であり、それらが有用または必要であると考える場合は、それを活用しなければならぬのです。

私はあなたを私が通って来た側道へ〜それは他の人が歩いた道ですが〜へお連れします。それは他の人々がすでに歩いた道でありますし、また、これからその道をともに歩こうとしている人々もいます。人類には革命が必要です。まさに、それについて私はあなたにお話ししたいのです。どんな行動も効果を生みます。私は「バツフライ効果」を期待しています。最後に、「あれこれ」を実現する人の数が多ければ多いほど、世界はより良くなる断言します。

私が書いているのは、世界がひっくり返っていて、それを直す手助けをするためです。クレンジーナのは彼らです。私ではありません。私たちではありません。

[1]『自分に嘘をつくのはやめて』ジャンソン=ラルク・ガソシル 著 Rue de l'échiquier 出版



痛んだ社会にうまく適応していることは、精神の健康を意味しません

ジドナ・クリシュナムルティ